

令和 8 年 10 月 7 日（水）

内子分庁 3 階大会議室

内子町部活動地域移行推進連絡協議会（第 4 回）会議録

内子町教育委員会

挨拶 委員長

皆さん、こんばんは。本日のお仕事で大変お忙しいところ、部活動の関係者の皆様方にお集まりいただきました。オブザーバーとして、愛媛県教育委員会ははじめ、団体の皆様にご参加いただき、令和 8 年度の第 4 回部活動地域移行推進連絡協議会が開催されますこと心より感謝申し上げます。部活動につきましては、皆さんご承知の通り、令和 6 年度より拠点校方式を導入し、今年度 9 月からは、一般社団法人うちこ地域クラブが休日の部活動を地域クラブ活動として、展開をしている状況でございます。当初、立ち上がりは大変心配していましたが、現在のところは大きな問題もなく、進捗しているのではないかと、少し安心しながら様子を見ている状況です。ただし、何しろ初めてですし、手探りのことばかりですので、今後とも慎重に進めていきたいと考えております。また、皆様ご参加いただいております、この推進連絡協議会ですが、開設当時はかなりの頻度で開催をいたしました。いろいろ決めなければいけないこともありましたので、結構やりましたが、現在は休日の部活動は地域クラブで実施されている状況で、とりあえず落ち着いてきているのかなというふうに思っております。そのため、地域クラブにおける様々な細かい問題点とか課題は、地域クラブ側で開催される運営会議とかマネージャー会議、それは指導者や学校関係者、保護者、事務局だけが参加されると思いますが、そちらにおいて解決を図っていくことがいいのではないかと考えております。当然今後もこの協議会は平日の部活動を地域展開していかなければいけませんから、やっていかなければいけないのですが、当面は、現在の活動が軌道に乗るまでこの協議会も今までより少し間隔を開いて開催をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。本日は皆様方の積極的なご意見をいただきながら会議を進めてまいりますけれども、資料を見ていただいた通り、報告事項が主な協議事項でございます。本日の会議が内子町の実状に応じた、持続可能な部活動の始まり、さらなる一歩となることをお祈り申し上げまして、ご挨拶させていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◆協議 1 前回の確認（会議録）

事務局 第 3 回の内子町部活動地域移行推進連絡協議会が 8 月 27 日内子分庁 3 階大会議室で開催されました。令和 6 年度より拠点校方式、今年度 9 月から一般社団法人う

ちこ地域クラブが設立し、休日部活動が地域クラブへ展開となるという話をさせていただいております。

地域展開を進める上で特に重要となるのが指導者の確保であり、本日の協議でその取り組み状況を共有したいという趣旨の挨拶がありました。その中で、ネットヨタ瀬戸内株式会社との提携の締結についてのお話もあり、今後、人材提供などの協力が期待されることも紹介されました。

協議の内容としましては、協議 1 として、第 3 回の協議会の会議記録の確認を行いました。第 1 期、令和 5 年度から 7 年度は拠点校部活動を中心に進めてきた。第 2 期となる令和 8 年度からは、休日の地域展開へ移っていく段階であるということ。運用面では、連絡や情報共有の手段として、部活動アプリの活用を進める方向で、練習メニューの共有、それから出欠確認と運用しながら検証をしていくということが示されました。指導者体制については、当初検討していた指導者のレベル分けについては、一旦白紙に戻し、まずは確保を優先するという。原則、1 部活動に 2 名体制を基本としつつ、種目によりそれ以上の増員も行うということを確認させていただいております。報酬関係について、交通費は報酬に含め、別途支給は行わない方針であるということとしております。夏休み期間中、平日は拠点校部活動で、休日は原則として部活動を行わないということをお伝えしております。9 月以降の休日活動において、スクールバスは現行と同様に運用する方針も確認させていただいております。指導者確保については三段階で進める方針ということで、まずは現行の体制の中で、先生方、そして現在協力いただいている指導者の方をまず優先的に継続していただく。そのように声かけをさせていただいております。次に、県の人材バンク、企業の協力、外部人材の活用を進め、一般公募は最終段階として行うという方向性です。その募集の中で、不適切指導への懸念、そういったものが出てきております。これについては、指導者研修の実施、それから、問題発生時は、地域クラブ事務局が窓口となって、学校と協力して対応をするということを確認させていただいております。

次に、協議 2 として、夏休みの活動状況と 9 月開始に向けた準備についての報告がありました。まず登録状況です。当日の確認では 101 名の生徒が登録していますと報告しました。その時の資料では登録率は 41.7%となっておりましたが、まだ締め切り（8 月末）前ということだったので、その後、増えております。指導者については、多くの教職員が引き続き協力していただけることとなっており、地域指導者の方も加え、多くの部活動で 2 名体制での目途が一応立っていますということで報告がありました。ただ、サッカー部については引き続き交渉中であるということでした。8 月 19 日に指導者研修会を実施しております。そこで、アプリの使用方法、謝金の取り扱い、緊急時対応、それから指導者研修等の報告、説明したことについての報告がありました。8 月 26 日にネットヨタ株式会社と連携協定の

締結。その中で部活動、地域展開に関する人材派遣等の協力が予定されていることについて報告させていただいております。その時に、その提携に関する資料はないかという意見がありました。10月の広報に紹介されている記事をコピーしたものを配付させていただいております。参考にさせていただいたと思います。うちこ地域クラブの運営方針として、学校部活動の良さを引き継ぎながら、子どもたちの学びと成長機会の確保、地域全体で子どもを育むこと、担い手育成と持続可能な運営体制づくりを目的とすることが説明されました。組織体制として、理事会とそういったものを設けて進めることが示されております。質疑の中で予算の内訳、使用の用途についてご質問がありましたが、多くは人件費、指導者への謝礼ということで回答をさせていただいております。遠征費について、別途支給ではなく基本的に謝金の範囲である旨の説明もその時にされております。また、休日移動の負担、特に距離のある地区の負担についてご意見がありました。移動については当面従来通りという考え方を示しております。また、保険加入の重複についてご質問がございました。原則加入としつつ、同様の保険に加入している場合は、地域クラブの方へ相談をしていただく、それで個別に対応をしていくという話を進めております。県やオブザーバーの方々からも、指導者確保が共通の課題であること、今後の生徒数減少を見据えた連携の検討、スタッフ体制を厚くする重要性について等の助言をいただいております。県の人材バンクについては、内子町に通える希望者が30名いるものの、競技のマッチングが次の課題であるとの説明等がありました。以上、簡単ではありますが、会議録の報告をさせていただきます。

委員長 はい、ありがとうございます。疑問な点とかご質問ございませんか。だいたい内容的には良かったですね。ありがとうございます。それでは、うちこ地域クラブ活動について、よろしくお願いいたします。

◆協議2 うちこ地域クラブ活動について（5・6年生の部活動希望アンケート結果、大洲市

喜多郡中学校新人体育大会結果、9月の活動状況等）

事務局 資料の方を見ていただけたらと思います。5、6年生の部活動希望アンケートの方を取りました。6年生と5年生の現在の第1希望の人数と令和9年度当初、令和10年度当初の予定の人数を示しています。この人数でスタートであれば、まずは今の部活が維持できるのではないかなというふうに考えております。ただ、新人戦になった時には、そこからまた人数が減っていくようになります。今のところ、令和10年度あたり、令和9年度の新人戦から男子ソフトテニス部の人数が少ないかなという懸念は出ておりますが、とりあえず来年度は、今の部活が維持できるものだと考えております。続けて、部活動の方で、先日行われた大洲喜多郡中学校新人

体育大会の結果を記載させていただいております。

委員長　今の小学生5、6年生のアンケートを取った結果、来年度はなんとか現在の部活の維持ができるのではないかとことです。それから、先日行われました新人体育大会での結果報告がありましたが、校長としてどうでしょうか、この拠点校方式を導入した結果が良い方向に向かっているのではないかと私は思いましたが、その辺のところよろしくお願いします。

委員　大洲市も人数が必要な部活動に集まらず、合同チームを組まないといけない状況が、野球、サッカー、バスケットでも出てきていまして、それを内子町は拠点校部活動の形でさせていただいているので、人数にゆとりがあります。自分の中の分析では、やりたい部活動を選んだ子たちがやりたいから努力を始めている。進んでやるという雰囲気ができ始めているのかなと感じています。内子中学校に体育主任やいろんな立場関わって、今年12年ですが、その中で自分の記憶では、まだ拠点校じゃなかった4つの学校がそれぞれ参加した大会も含めて、一番いいぐらいの成績ではないかと感じています。

委員長　それは拠点校方式を導入したのが子どもたちにとってもいいし、物理的にも人数が増えて、まあ切磋琢磨もできるし、いい方向に動いているというふうにとってよろしいですかね。他の中学校の先生方もどうですか、その辺のところの認識としては。教育長になって5年目ですけれども、非常にいい成績だなど、たまたまかもしれないが思ったのですが、その辺が拠点校を導入して3年目ということもあって、徐々にうまく噛み合ってきたのかなという気はするのですが、何か違う分析があったらお願いできますか。

委員　大瀬中に関して言いますと、団体が11団体あった中で、5種目優勝して、すごいことだと思いました。個人戦にしても、新人戦の結果の資料のどこかに五十崎中が入っている。指導者の方に大変お世話になっていると思います。大瀬中学校は、8人中4人が運動部なのですが、4人ともが賞状をとってこられまして、本当にご指導いただいてありがたいなと思います。

委員　うれしい結果で喜ぶことがたくさんあったなという新人戦でした。試合の中で、卓球とかテニス、個人戦があったりもするのですが、団体競技も含めて、各校、いろんな学校の子たちが集まっている状況の中で、それぞれがしっかり練習を積み上げて、仲良くなって、喜び合っている場面がたくさんあったなと思っています。卓球などは、団体戦で最後、個人で出ていく団体戦なのですが、すごく競った試合を落としてしまう。何度もデュースになり、すごく盛り上がっていたのですが、それでも落としてしまったところに、いろんな学校が集まっている生徒が駆け寄って行って、大丈夫よと励ます。そういった場面もあり、一緒にやっていくことでのつながりもできつつあるのかなと思っています。なかなか難しさは感じていながら進んでいるところもあるのですが、そういった成果が出てきた面もあるかなと

思います。

委員 もう言い尽くされたので、だいたい言うことはないのですが、私も団体で優勝した時のバスケット、軟式野球、あと剣道を見させてもらったんですけど、先ほども言われたように、総体では感じなかったのですが、特にみんなまとまっているとか、一つのチームだなというのを感じました。競技についても、まあ負けた勝ったところだけじゃなくて、負けたところにしても、そういうのがこう感じるような、そういうような試合運びとか、試合内容だったかなというふうに思っています。先ほど言われたように、本当いろいろご苦労されてのことだと思います。本当ありがたいなとは思っているのですが、まあ保護者同士がどういう連結をされているかというのはわからないところもあるので、そのあたりを聞きたいところがあります。生徒同士はそういう雰囲気も感じているんじゃないかなというようなことは思っています。

委員長 ありがとうございます。決してその結果だけを私は言っているわけではないのですが、成果が出てきたのは、私自身も実感として感じています。最初、拠点校というのは難しい運営があって、いろいろ問題もありましたが、まあ3年経って子どもたちも馴染んできたのかな、一定の成果が出たのかなと思って安心をしております。続きまして、9月の活動状況について、事務局お願いします。

事務局 一般社団法人うちこ地域クラブの活動状況についてご報告をいたします。まず1つ目ですが、生徒・指導者登録状況について報告いたします。現在、生徒について196名、そして指導者については40名の登録状況となっております。種目については、1から14の種目がありまして、クラブに入っていない方については、15、16、17ということで、クラブチームに所属している方や部活自体に入っていない方、そして部活は入っていたけれども、今まだクラブチームには入っていない検討中という方がおられます。対象生徒数全部足しますと241名おりまして、その中で地域クラブに加入している方196名ということで、地域クラブの加入率は81.3%となっております。もう一つ下に地域クラブの移行率95.1%と記載しておりますが、こちらについては、拠点校部活動に登録している206名のうち、休日の地域クラブに移行した方が196名ということで、95.1%が部活動から引き続き、地域クラブの方で参加していただいているという状況になります。指導者につきましては、合計で40名となっております。現在の生徒指導者の登録状況は以上になります。

続いて指導者報酬の支払い状況についてです。うちこ地域クラブにおいて指導者の方に報酬を支払っております。7月については39万8,200円となっております。8月は69万4,400円、9月が95万6,400円となっております。7月については、夏休みに入って7月20日から約10日間ぐらいですので、金額が少ない状況となっております。8月については、夏休みの期間でございますので、主に平日の外部指導者の報酬となっております。そして9月については、地域クラブ活動が始

まって、実際の支払い額になります。

10月1日現在にはなるんですけども、約100万円程度、今後も指導者の方への報酬で支払っていくのかなという状況になります。指導者報酬の状況は以上になります。

事務局 活動内容については私からご説明いたします。まず9月17日から9月24日にかけて、各新人戦に参加する部活動にお邪魔し、選手の皆さんの決意表明を撮影いたしました。こちらを編集いたしまして、新人戦の壮行会で、各中学校で活用いただいております。また10月3日、一般社団法人だいたい TeamEHIME 様からええ指導者派遣事業としてええ元バレーボール女子日本代表の佐伯美香様にお越しいただきました。今後も佐伯様については、定期的に指導をいただけるというふうにお話を伺っております。他にも愛媛県にゆかりのあるトップアスリートあるいは指導者の方を派遣いただく予定となっております。具体的に今お話をいただいているのが、オレンジバイキングスのアカデミー年代のコーチングスタッフの方。こちらは12月以降ということで、今調整をしていると伺っております。愛媛マンドリンパイレーツの選手の方、昨年度もお越しいただいたんですけど、今年度もまたお越しいただくように調整をしていると伺っています。また、サッカーにつきましても、元愛媛FCの選手やコーチングスタッフの方が契約を終えて愛媛県に戻ってきているケースが何件かあるというふうに聞いておりますので、そういった方の中から派遣をいただく予定だというふうに伺っております。

続きまして、事業者の方から部活動地域展開への支援事業として、アルペングループ様からは、アルペングループ様の店舗での購入に関して、5%の割引とポイントの付与がつくメンバーズカードの配布がありました。これとは別に、愛媛県スポーツ用品協同組合の地域展開の支援事業として、割引等の支援を実施すると伺っております。こちらの組合なんですけども、内子町では宮瀬スポー様が加入をされておまして、現在支援内容を検討していると伺っております。また、地域行事の参加につきましても、総合スポーツ部が10月7日に立川自治会のニュースポーツ大会に参加する予定です。今後の課題といたしましては、連絡用アプリの使用の習熟度、事務局も含めてなんですけども、ばらつきがちょっと大きい状態にありますので、研修等を活用して、習熟度の標準化に努めてまいりたいと思います。また、スケジュール管理につきましても、急な予定変更に対して連絡が間に合わないケース等がありましたので、こちらについても先生方と協議をしながら、連絡体制の構築に努めてまいりたいと思います。以上、うちこ地域クラブの活動状況でございます。

委員長 地域クラブになったからこそ、多彩な活動もできるようになったのかなと思ったわけなんですけども、委員の皆様、9月からこんなことが心配だったよとか、こんなこと苦労していますとか。その辺ご意見がありましたらお願いいたします。

委員 アプリの使用なんですけれども、保護者なのでアプリ使わせていただいているんですが、スケジュールの更新がすごく遅いことがありました。特に9月の末に新人戦があって、10月初めが少し変則的な活動時間になっていると思うので、やはり早め早めにスケジュールを入れていただきたいなと思っています。10月になっても入ってなかったので、顧問の先生に問い合わせたら、こちらは言うだけで、入力先生ではやってないので、先生の方ではどうにもできないんですという返事だったので、早めに入れていただきたいのと、あと入力ミスをなるべくしないように気をつけていただきたいなと思います。入力ミスがあって、保護者でちょっとざわざわしたので、その点お願いしたいなと思います。

委員長 事務局どうですか。

事務局 まずご迷惑をおかけしたことお詫び申し上げます。9月につきましては、毎月18日前後にスケジュールが上がっているところなんですけれども、連休と重なってしまって、連休明けにスケジュールを把握できたことと、あと新人戦が雨で予定が変わったというところで、かなりご迷惑をおかけしたと思っております。このあたり、見通しが甘かったなと思っております。これについては、9月の運営状況を反映して、来月以降のスケジュールの入力とお知らせについて改善していきたいと思いますので、またご意見ありましたら伺いたいと思っております。よろしくお願いいたします。

委員長 人手が足りないとか、そういう問題ではないんですよね。

事務局 そうですね。あまりこう言う可他責かと思うんですけども、連休のタイミングが悪かったところもあったのと、天候にかなり左右されてしまったところもありますので、そういったところも見越して運営していかないといけないなという反省もしているところであります。

委員長 当然、連休なんか最初からわかっていることですので、それは見越してやらないといけない。入力ミスがあったというお話もありましたが、その辺はどうですか。

事務局 これについては、下書き機能を使って準備をしていたところに、変更を入れた際に下書きを消し忘れていたっていうところがあります。人為的なミスで本当に申し訳なかったんですけども。

委員長 慣れてくればそういったことは減ってくる。

事務局 そうですね。

委員長 はい、お願いします。10月以降は気をつけるということで。はい、またそういう意見があったらすぐ言ってください。その他ございませんか。

委員 すみません、あの、私の子供が所属している部ではなくて、他の部のことなんですけど、ネットヨタ瀬戸内さんが指導者を派遣していただくという話になっていて、夏休み中に何度かいらっしゃるというふうに聞いていたので、保護者の方もすごく期待して待っていたそうなんですけれども、土日は来られません、平日にな

りますと言われて、結局平日も来られず、9月になって転勤するので行けませんと言われたそうなのですが、保護者の方はすごく残念がっていきまして、何も説明もされてないので、どういったいきさつでこういうことになってしまったのかというのをすごく気にしていました。

委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 すみません、大変申し訳ございませんでした。ネッツトヨタさんの方から、指導者の派遣をするという前向きな方向でいただいていたんですけど。転勤という話も、私もその夏休み期間中に聞くことができなかったのも、周知が遅れたのは本当に申し訳ございません。今後また派遣事業については、決まり次第、報告させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

委員 現場の顧問の先生とか保護者さんとか子供さんたち、やはり期待されていると思うので、変わったことがあったら、その都度ご説明してあげた方がいいんじゃないかなと思います。何事もなかったかのように流すのではなく、しっかり現場の方に説明してほしいなと思います。

委員長 そういう連絡機能的なものもあるんですか。そのアプリの中に。

事務局 はい、アプリ内でもあります。

委員長 保護者の方も期待度が高かったと。私も期待はしていたんですけど、意外と現場ではなかなか、相手も企業さんなので、向こうの事情があって、私たちが思ったほどにはちょっと動いていただけてないというのが現状ですけど、今後まあ長い目で見ればご協力いただけるのかなと思っておりますので、すみません、申し訳ありません。そのほかございませんか。

委員 その指導者、地域の指導者の方の登録というか、採用についてなんですけれども、いいですよという返事をしていただいたのに、何もこう進展がなく、未だに指導者に登録されてないという方がいるんですけど、どういうふうに登録はされていくのですか。剣道部なんですけど。

事務局 事務局には今日現在そういったお話はいただいてないんですけども。

委員 先生が指導できる方にお声がけいただいて、いいですよというふうに言われているということ。

委員長 顧問の先生にお返事しているんですか。

委員 はい。言ったみたいなのですが、それから進展がなく、せっかく言っているのに、大変失礼なことにもなっていますし、そうなんやったら指導いかんわとなってもいけないです。せっかくいいお返事をいただいているのだったら、早急に対応するのがいいのではかなと思うのですが、それはどういうふうに進めていくものなのでしょうか。

委員長 通常の流れとしてはどうなのか説明してください。

事務局 すみません、その点については、こちら事務局まで話が通っていませんので、そ

のあたりはすみません。顧問の先生方、また現在の指導者の方ともうちちょっとコミュニケーション、連携をしっかりと図っていきたいと思います。

委員 顧問の先生がこういう方がいらっしゃるんで、この方、指導者になっていただきたいですというのをうちこ地域クラブに伝えるという形なのですか。

事務局 はい。登録とかもありますので、まずはあの相談をいただくようにはなると思います。

委員 顧問の先生が動かないといけないということでしょうか。

委員長 うちの方からヒアリングしても別に構わないね。

事務局 はい。今、お話を聞きましたので、また顧問の先生とお話をさせていただきます。

委員 あの外部指導者のことなので、僕のところにまず話が入って、顧問の推薦に僕がいいですよと言って流していく流れだと思うんですけど、ちょっとそこまで達していないと聞いています。実はあの、最初はやりますかみたいな話になりよったらしいんですけど、実際にじゃあやってみるかとなったら、もうちょっともうちょっとこう詰めていきますみたいなことを顧問からは聞いています。

委員長 はい、その他ございませんか。その他にも入りますので、その他のすべてでいいので、ご質問とかご意見とかございましたらよろしくお願いいたします。

委員 さっき新人戦の結果なんかも成果が上がってというふうな話もあった中でも、あとちょっとで勝てたのになという話もあったと思うんですけど、そのところで、まあ去年も1回は言わせてもらったんですけど、内子は他の地域と比べて1日少ないんですね。そんなにたくさんさせてくれっていうわけじゃないけれど、(他の地域と)同じだけの練習時間にしてやっていただけないかなというのが、吹奏楽やっているんですけど、希望です。そのところで、まあ惜しかったというところも、そこらあたり、毎日の積み重ねなので、それがあつたら、ひょっとしたらその惜しかったというところも勝つとったかもしれないし。吹奏楽も夏にコンクールあるんですけど、B部門っていう部門に出て、今年は一応金賞もいただいたんですけど、もうあと数点というところで、実は代表の枠を逃してしまって、特に楽器を演奏するというのは、例えばピアノなりバイオリン習うと言ったら、やっぱり毎日練習するんですね。基本的に。そのところが、他の地域は5日間やっているのが内子は4日間。そして、そこからまたいろんなことがあって、時間数が減っていく。そうすると、もうできるところまでいかない。楽器って、もう中学校から始まるものなので、そこらあたりが非常に厳しいなというふうに思います。で、去年もそういう話したら、少ない時間の中で、できるだけ効率上げてやっていただいて、成果を出してくださいという話ではあったんですけど、まあ私も自分で言うのもなんですが、あの老体に鞭打って、本当にあの限られた時間の中は一生懸命やったつもりで。そのあとちょっとだったんで、非常に残念だなという気持ちがありますの

で。なかなか難しい部分もあると思うんですけど、せめて他の地域と一緒にならないかなというふうに思っております。以上です。

委員長 ちょっとこの場ではなかなか、これ校長先生方どうですかね。これはちょっとこの場で決めることでもないと思うんですけど、まあ平日の部活動ということですよ。

委員 さっき歯切れの悪い返答をしたんですけど、この前、新人大会終わりに近づいたり、終わった後などで、何人かの知り合いから声かけられたのは、新人戦の内子と言われて。総体になると逆転の目は出てくるから、自分とこの学校には、その新人戦の内子という言葉は払拭しようぜって。今週から選手に言っているんですけど、具体的な工夫の部分と、時間的な絶対量の部分との兼ね合いみたいなのは難しいところがあるなとは正直思っています。いろんな部分が絡むんだと思いますが。

委員長 また別のところで協議しなきゃいけないとは思いますが、一つ減らしたというのは、正直申し上げて、これは先生方の働き方改革です。先生方の負担を減らす。これが一番大きな理由です。平日の部活動をこれから地域展開していくとなると、やっぱり民間の指導者も集めなければいけない。活動量を増やせば、やっぱり指導者をもっと増やさなければいけない。そのジレンマの中で、現実的な選択として、これだったらやっていけるんじゃないかなということで1日減らしたというのが実情です。その辺どうですかね。当時、その辺があったと思います。

委員 先生方は、1日ちょっと時間ができることが大変ありがたいという反応がありました。全然違うと。やっぱり週1日だけないのと、週2日ないのと。1日だけない状況だったら、そこに研修とか会議日を全部入れ込んでしまって、結局は自分で何か業務をする時間が持てないということがあったので、そこはありがたいという状況がありました。あと、子どもたちの変化もちょっと感じているんですけど、自分たちでしたいという子も実はいて、練習をもっとしたいなという子が、休みの時に自主練をしているとか、そういった自分に余裕ができたことによって、さらに自分自身で高めたいものを追求していくという時間も持ち始めているのかなと思っているので、そういった時間としての活用にもなっているんじゃないかなというのを感じています。

委員長 昨年も言われましたし、今年も谷口先生が言われたので、この件については引き続き中学校の校長先生方とも相談させていただきたいと思いますが、趣旨としては先ほど私が申し上げた通り、先生方の働き方改革、これが一番です。増やせばその分負担が増える。これはもう現実的にはそういうことなので、生徒の要望を実現することと、先生方の働き方改革を進めていくということの二つをやっぱり実現するところの妥協点が、今のところなのかなと私自身は考えていますが、先生もやれるということになればですね、増やすことも可能だと思います。その辺は引き続きということよろしいですかね。ちょっとこの場ではなかなか結論は出ない問

題だと思います。

委員 そのことに関してなんですけど、土日どっちかの練習という形ですよね。それを土曜、日曜両方やれる部はやるという形とかというのは可能なんでしょうか。

事務局 休日は地域クラブの方でお答えさせていただきます。休日についても、部活動と一体ということですので、休日の先生方にも出ていただいている状況でございますので、そのあたりもやはり働き方改革、そして子どもの健康・安全を考えると、土日どちらかが今は現状としては正しいのかなと思っております。

委員 あの、息子が部活動やっているんですけど、時代が違うのはわかるんですけど、圧倒的に部活の時間が少ないという、やりたい子に関して思いがある。そのためにクラブチームに行く子もいるという現状がある中、僕はもうちょっと練習できる時間が増えればなというのが、親としての思いです。練習する時間を増やしてあげたいという気持ち。先生が大変なのは十分わかります。夕方全部潰されるような形で部活までしてというのは重々わかるんですが、何かそのいい方法がもしあれば、と思います。

委員長 子供さんの幅もありますよね。やりたい子から、まあまあやればいいんだみたいな幅もあるし、先生方の都合もあるし、先ほど言われた、楽器は毎日触らなければいけないという話も、たまたま今、「蜂蜜と遠雷」という小説を読んでいて、毎日触らないとダメなんですよ。でも、みんながプロになるわけでもないという現実も、まあ実際にあるということで、その辺も考えながら、また校長先生と話をさせてください。はい、すみません、その他ございませんか。よろしいですかその他事務局ないですか。

各団体から1名ずつ、よろしく簡潔をお願いします。

オブザーバー

もう4回を数えて、積極的に積み上げて、地域移行から地域展開ということを考える上で、学校現場に頼っている状態から、教員からできるだけ地域展開させるのが一番の狙いです。どの地域もやはり指導者不足で、その質の担保、これもやっぱ裏腹に非常に難しい現状です。宇和島市では73の部活動のうちの26が休日の展開を今可能にしています。36%ですね。宇和島市ではコミュニティコーチと言って、地域の人を休日つけている。でもそれは不足しているというふうに捉えています。現在53名確保されていますが、全然まだ足りない状態です。部活動の指導員プラスコミュニティコーチこの2人でやろうとされているんですけど、やっぱり足りない。で、内子町の現状を見ると、やはり先生方のOBあたりを使われているんですけど、それプラスアルファでこの地域の方を継続してやれるようにするのがいいのではないかなと思うんですけど、なかなか難しいですよ。加えて、教員の人事異動によっていろんな指導者が変わったりするんですけど、兼職兼業の要綱、これを各地域作られています。その先生が他地域へ移動しても兼職兼業が可能にな

るように、南予一体で同じようなシステムが取られると、仮に内子の先生がよそに行って内子指導したいよと言った時も、大洲市の教育委員会がいいよというふうに兼業が可能になるように、南予どこに行ってもそれができるような要綱を作っていただくように、今要望しているところです。持続可能な収支構造と特にこれから受益者負担に向けて地域展開を考えると、それようになってくるのではないかなと思うんですけど、そこら辺の採算性とかですね、そういったもの、あるいは事務手続きのこと、こういったことに関しても、今後やっぱ地域展開を考える上で、学校側で運営するというよりは、行政がそういった仕組みを整えていく、こういったこともこれから重要になってくると思われます。この地域ではバスを出していただいておりますが、特に地域の方を、指導者を受け入れるときに、平日の展開を考えると、部活動指導の開始時間が課題です。4時から指導できる人がどれぐらいいらっしゃるかというと、こういった問題があります。反面、バスを動かすときに、やはり子どもたちの6時あるいは7時にした場合にバス等はどのようにするかともう完全に切り離して受益者負担にする。そうすると地域の距離が離れている家庭に大変負担をかけることにもなるし、その辺、今後の展開を考えると、難しい問題に直面するのではないかと考えております。他地域の情報を共有しながら、解決できることは共同して解決したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

オブザーバー

前回、第2回目（部活動地域移行推進連絡協議会）の方に参加をさせていただきました。第2回から約3ヶ月なんですけれども、その間に第2回で予定していたことも進んでおられまして、7月教員の説明、保護者の説明。8月には指導者配置を決定されて、研修も実施されて、9月の最初にはもう休日の移行をやると。次年度の平日に向けて、小学校5・6年生への説明も終えて、新人戦もして拠点校についても3年目を迎えていると、本当にしっかりとした準備があるからこそじゃないかなと思っています。で、3年間、例えば拠点校の3年っていうのも、やはり準備があるから、子供らが安心して活動、それからこう連携を取る時間っていうのも増えて、今回の成績につながったのではないかなと思っています。今回の話の内容もフェーズが変わって、運用に関する課題についての話し合いになっていると思います。今後、実際に動きますので、そういった課題というのがたくさん出てくると思うんですけども、それを解決するための会になっていくのかなと。そういう会もまだそこまで協議会に行っていない市町さんも多いので、私にとってはこういう会で現場の生の声を聞けるというのはいい機会でこういうことをまた違う市町でも、こういうことを言われていましたというようなことで、参考になる大変いい機会になっております。実際の指導者が指導している現場への視察の方も行かしていただくように計画をしているので、ぜひ現場の声なんかを聞きながら、課題を共有してできることにしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

オブザーバー

昨年から毎回参加させていただいている中で、活動が段階的に進んでいるなというところを感じさせていただいております。やりたい子がやれるようなことであつたりとか、様々な選手、生徒がいる中でどうやりくりしていくかというのは非常に課題かなというのを改めて感じました。僕自身も野球をしていたんですけども、僕らの時はまだしっかり一週間やる時代だったのですが、雨の日に、やったというのもちょっと違うかなというのは、先生の話聞きながら感じたところです。選手が、生徒が主体的にやりたいとか、じゃあそれで工夫するとか、そういうふうなところで活動をこう工夫しながらしていくというのは、本来の中学生の姿なのかなというのは聞きながら思っていました。今回、地域クラブが立ち上がって、教育長のお話が冒頭にあった通り、地域クラブの中で解決をしたりとか、そういったところになってくるというふうなところかと思いますので、私の方もそちらの方で運営の方をしていきたいと思っています。一つは、やっぱ生徒、地域クラブ、まあ大人が準備したものにはなるんですけども、やっぱ生徒が主体に関わっていくということが非常に大事なのかなというふうには感じています。地域クラブというところに生徒自身がこうアイデンティティを持って、うちこ地域クラブとして将来的に出場するというふうなことを考えたときに、一体感を持ってしていく。例えば、シンボルを作ったりとか、カラーを決めたりとか、なんかそういったところに生徒が関わって、一体感を持って運営していく。いろんなそこでアイデアを出し合って、施設投資ができること、できないこと。それに対して大人が助言をしていくような活動になると、生徒の放課後としていい活動になっていくんじゃないかなというふうに思いますので、一般社団をうまく活用できるようにサポートしていきたいと思っていますので、引き続きよろしくをお願いします。

地域クラブ理事

最初にいただいた資料の中で、小学校5、6年生のアンケートを小学校で実施していただき、これが必ずしも数字になるわけではないかもしれませんが、ある程度議論の目処が立ったこと、大変ありがたく思います。ありがとうございます。校長会長さんありがとうございました。新人戦の結果、それから吹奏楽部の結果ということで、本当に一昨年、私が中学校に来た時もどうなるかと思いましたが、すばらしい結果が出ておりましたし、今回も本当によく頑張ってもらってありがたいし、嬉しいと思っています。委員からいただいたご意見は、私もずっと伺っておりながら、どうしてもその練習時間は、量はやっぱり質に変わっていくとよく言われる中、やっぱりその時間の確保ということは、これからも検討しないといけませんし、何か工夫はできないかなと思うことで、常に心にとどめて、これからのに乗せていけたらいいかなとは思っております。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、谷口先生、四国吹奏楽連盟の理事長さんをされておられまして、こんな言い方

したらあれですけども、一中学校、一つの学校の指導者をされるような方ではないけど、本当にすばらしく、四国内で音楽をやっている人間で、谷口先生の名前を知らないというような方にしていただいた中で、少ない練習時間の中で最終的に金賞は取ったけれども、代表になれなかったということで、非常に悔しい思いをしたところでございますが、そのように指導者の皆様も一生懸命指導していただいている、そのお気持ちを十分汲み取りつつ、また今後の体制づくりを考えていきたいと思っております。話は少し変わりますけれども、今年 12 月 25 日に子ども性暴力防止法というのが、施行されるようになっております。これは性犯罪の前科を持っているかどうかとか、それから指導中に不適切な行為はないか、防止するというふうなことについて、いろいろ通知が来ております中で、当然、スポーツクラブの指導者もその対象になります。今後、クラブの方で研修を計画していく中で、最初に指導者の方には研修を受けていただいておりますけれども、指導者の数の確保とともに、質の担保も含めながら考えて、より良い指導ができ、生徒が安心して取り組めるように頑張っていきたいと思っております。また皆様、いろいろご意見よろしく願いいたします。以上です。

委員長 ありがとうございました。はい。アドバイザーの方からも本当に貴重なご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

挨 拶 副委員長

ありがとうございました。9 月からスタートして、新人戦を終わりました、これからどんどん本格的な活動になっていくのかなと思いますが、私の子供が所属している部が地域の指導者の先生が入っていないので、大きく変わったところというのはもうアプリを使うことぐらいかなという、今のところはそれぐらいなんですけれども、進めていく中で細々としたいろんな課題というのがこれからも出てくるのかなと思います。またこの協議会で皆さんと相談して、子どもたちが頑張れる部活動というのができていったらいいなと思います。また次回もよろしくお願いします。ありがとうございました。